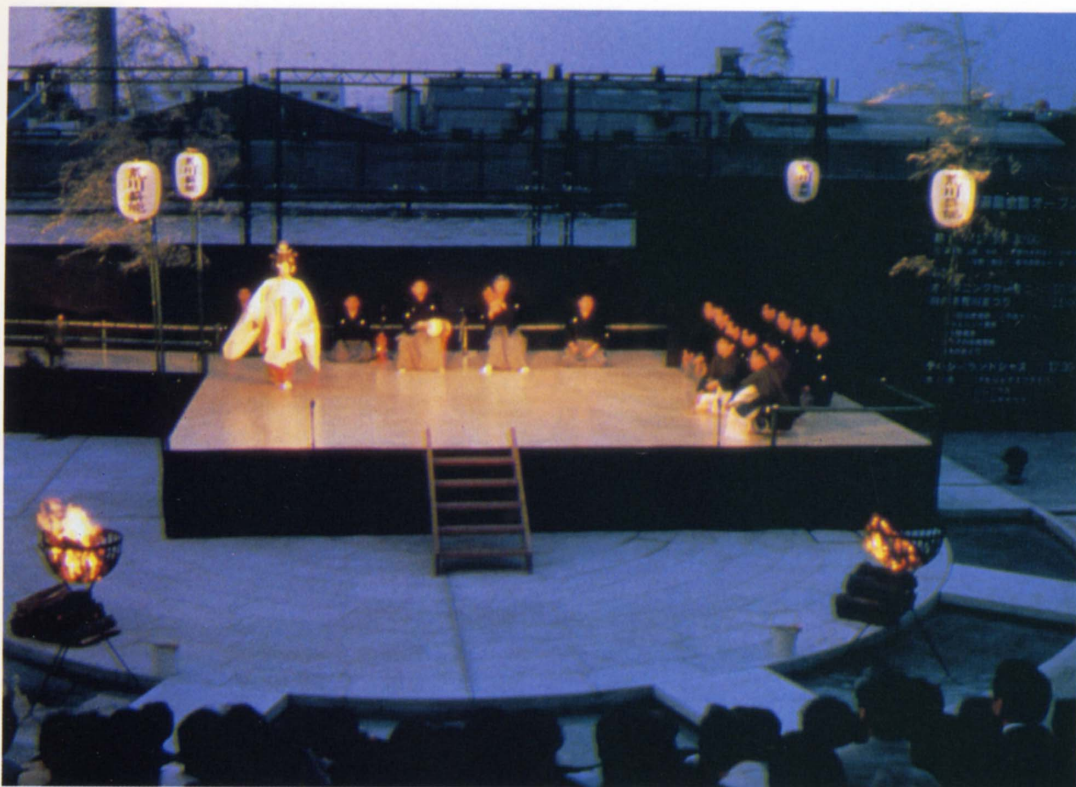




DATA・BOARD 38

- ①東京都荒川区西尾久6丁目35番11号
- ②延長：250m、幅員：20～40m
- ③水上ステージ、水路、曝気装置ほか
- ④自然石、擬石、植栽ほか
- ⑤各種イベント



かつては城北の名園と呼ばれ、隅田川と一体的な存在であった荒川遊園は、高潮護岸の建設により隅田川とのかかわりを絶たれてしまい、川面を眺めることができなくなっていた。

荒川区では、区民と隅田川とのふれあいを取り戻すために、堤防を陸側に湾曲させることにより川側に空間を生みだし、水上ステージの整備を行った。この整備は、川へのアプローチ施設というだけではなく、川と人とのふれあいの場をつくるために、湾曲させた堤防は斜面をゆるやかにして観客席となるように工夫している。さらに、隅田川の水を取り入れて浄化し、施設内に流すことにより水質浄化意識の啓発を図っている。

完成後は、水辺のイベント広場として、憩いの水辺空間として親しまれている。